# 啖變太郎



## 目 次

*	理事長 巻頭言 「創立60周年記念行事を振り返って」 1 栃木県吹奏楽連盟理事長 石塚 武男
*	1. 平成27年度第34回全日本小学校バンドフェスティバル ····································
*	2. 栃木県吹奏楽連盟創立60周年記念式典・記念演奏会・記念祝賀会2
*	3. 第21回東関東バンド・セッション2015 及び 第16回東関東選抜吹奏楽大会 報告 5 東関東選抜吹奏楽大会に参加しての感想 栃木県立佐野東高等学校 吹奏楽部部長 高橋 京
*	4. 第21回東関東吹奏楽コンクール 報告
*	5. 第21回東関東マーチングコンテスト       報告       7         南犬飼中学校 3年       佐山 友唯         石橋中学校 吹奏楽部 部員代表 青藍泰斗高等学校 吹奏楽部顧問 與儀 和弘
*	編集後記 ····································

★ コンサート情報

栃木県吹奏楽連盟加盟団体から広報部に寄せられたコンサートの情報

WORKSHOWENESS OF WAR WARDENESS OF THE WA



## 「創立60周年記念行事を振り返って |

栃木県吹奏楽連盟理事長 石塚武男

栃木県吹奏楽連盟創立60周年記念行事を開催するにあたって、「温故知新の精神を心にとどめ、60年の歴史に誇りを持つとともに、未来に向かって音楽を通して心の豊かな人間を育てることを目指して行くこと」を掲げて10月に開催しました。

県内外の音楽関係者をお招きするにあたって、東関東吹連の役員の方々、県コンクール、アンコン等の審査 員の方々、多くの人たちのご出席を頂き、盛大かつ成功裡に終了することが出来ました。これも一重に連盟の 会員の方々のご協力によるものと感謝いたします。

しかし、反省することも多々ありました。開催した期日が10月であったこと。芸術の秋と言われるように学校関係においては多忙な時期であったと思います。

また、会館の予約や指揮者との日程調整の難しさがあって10月になったこと。

その他、準備を進めるにあたって、県コンクールが7,8月、東関東大会が9月と多忙なため気持ちが集中できず物事が遅れがちであったこと、等でした。

しかし、記念演奏会のメモリアルバンドに今や新鋭きっての実力指揮者である大井剛史氏(本県芳賀町出身)を招聘し、指揮をして頂きました。大井剛史氏の指導によって、この上ない高度な音楽を習得する良き機会を得ようと計画を立案し、中学生バンド、高校生バンド、大学生・一般バンドの公募をしました。しかし、予想に反して各校からの応募が非常に少なかったことは募集の趣旨が理解できなかったのでしょうか。あるいは部員の関心がなかったのでしょうか。それとも書類の仕舞い忘れだったのでしょうか。

また、記念演奏会の鑑賞に参加する人が少なかったこと等、皆さんと考える必要があると思います。

これらの反省を考えると同時に、この節目の年をステップとして、栃木県吹奏楽連盟が一丸となって、少子 化時代であっても未来の発展を考え、魅力ある吹奏楽部の活動を盛り上げることに努力する必要があると思い ます。それには、一人でも多くの部員を獲得し、地域の学校とともに切磋琢磨して誇りの持てる部活動を作っ て頂きたいと思います。

連盟としては音楽、吹奏楽部の活動に良き環境つくりのために努力をしますので、各種行事にふるって参加して頂けるよう、皆さんとともに心新たにして頑張りたいと思います。

# 1 平成27年度第34回全日本小学校バンドフェスティバル♪

平成27年11月23日(土) 会場 大阪城ホール

# ☆ 祝 高根沢町立阿久津小学校金管バンド部「金賞受賞」 「第34回全日本小学校バンドフェスティバルに参加して」

高根沢町立阿久津小学校 金管バンド部 部長 佐々木 和 奏 私達は、今回初めて全日本小学校バンドフェスティバルに参加させて頂くことができました。先生をはじめ、 部員全員が目指していた全国大会に出場し、栃木県初の金賞をとることができてとてもうれしかったです。大 阪城ホールのアリーナはとても大きくてその広さにびっくりしました。

そして本番直前の待機中の時、他校の演奏を聞いているうちに不安が高まりました。でも、本番はみんなで 阿久津小らしい演奏ができ、今までの演奏で一番の「ライオンキング」だったと思います。

これまで教えて下さった先生方や協力して下さった保護者の方々、そして沢山の応援をして頂いた町民のみなさんへの感謝の気持ちを忘れずに、これからもがんばって行きたいです。

※阿久津小学校の全国大会での「金賞」受賞は、平成10年度の第46回全日本吹奏楽コンクールで、宇都宮市立陽西中学校吹奏楽部(星 弘敏 指揮)が普門館のステージで「金賞」を受賞して以来の快挙です。栃木県吹奏楽連盟としても心よりその栄誉に敬意を表するものです。おめでとうございました。吹奏楽に関わる人たちに勇気を与えてくれました。

2 栃木県吹奏楽連盟創立60周年記念式典・記念演奏会・記念祝賀会 報告 ♪ 平成28年10月17日(土)・18日(日) 会場 宇都宮市文化会館 大ホール



# 記念式典源

開会の辞 栃木県吹奏楽連盟副理事長 岩原 篤男



式典演奏 作新学院高等学校吹奏楽部 指揮 三橋 英之



栃木県吹奏楽連盟理事長 石 塚 武 男

…60周年を契機とし、私たちは 温故知新の精神を心にとどめ、栃 吹連60年の歴史に誇りを持つと共に、 未来に向かって、音楽を通して「心 の豊かな人間を育てる」ことを目 指して決意を新たにする次第です。



主賓挨拶

衆議院議員 船田 元様



#### 主賓挨拶

東関東吹奏楽連盟理事長 新 妻 寛 様



表彰状授与 【功労賞】

13名 代表 佐藤 浩様



#### 表彰状授与 【優秀指導者賞】

40名 代表 斎藤紀美子様



#### 表彰状授与 【優秀団体賞】

9団体

代表 作新学院高等学校 吹奏楽部 様

# 記念演奏会

指揮:大井 剛史氏

(東京佼成w.o 正指揮者)

演奏:60周年メモリアルバンド



#### (A) 県内中学生メモリアルバンド



- 1. 圈伊玖磨 作曲 祝典行進曲
- 2. A. Reed 作曲 ALittleConcertSuite (小組曲)
- 3. J. Barnes 作曲 AIvamarOverture (アルヴァマー序曲)

#### (B) 県内高校生メモリアルバンド



- A. Reed 作曲 AFestivalPrelude (音楽祭のプレリュード)
- 2. G. HoIst 作曲 FirstSuiteforMilitaryBand (吹奏楽のための第1組曲)
- 3. 酒井 格 作曲 LegacyoftheWoods (森の贈り物)

#### (C) 県内大学生一般者メモリアルバンド



- 1. 飯沼信義 作曲 ConcertMarch'87 (コンサートマーチ87)
- 2. P. Sparke 作曲 MusicforaFestival(祝典のための音楽)
- 3. A. Reed 作曲 ArmenianDancesPartI (アルメニアンダンスI)

# 記念祝賀会

会場 当会館2F レストラン「サン・フォルテ」



**開会の辞** 副理事長 山 本 伸 子



主催者挨拶 理事長 石 塚 武 男



祝 辞 全日本常任理事·西関東理事 林 尚 彦 様



**祝 辞** 足利市長 和 泉 聡 様



**乾 杯** 朝日新聞宇都宮総局長 白 石 和 之 様



**感謝状贈呈** 13団体代表 上野楽器 様

開会の辞

栃木県吹奏楽連盟副理事長 小野貴史

掲載の写真はすべて「フォトライフ」様から提供いただきました。 ありがとうございました。

#### 「栃木県吹奏楽連盟創立60周年記念行事に参加して」

今年度、平成27年10月18日(日)に、宇都宮市文化会館において、栃木県吹奏楽連盟発足60周年記念式典・記念演奏会・記念祝賀会が盛大に開催されました。

当日は主催者の式辞や来賓の祝辞を述べる際に作新学院高等学校吹奏楽部の生の演奏で演題へと進み、スピーチするという、趣向を凝らした式典となりました。県内加盟団体から選抜された栃木県中学校選抜バンド・栃木県高等学校選抜バンド・栃木県一般選抜バンドの3つのバンドが東京佼成ウインドオーケストラ正指揮者であり、本県出身の「大井剛」氏の指揮による演奏で大勢の聴衆を魅了しました。会場にはご来賓の方々も大勢来られており、その中には日頃から栃木県吹奏楽コンクールなどの審査を引き受けてくださっている多くの先生方の姿も見られました。先生方はこの60周年記念のイベントのために遠方からわざわざ駆けつけてくれました。栃木の吹奏楽を応援してくれていることに対し、大変うれしく思いました。

これまで、記念式典のためにご協力頂いたすべての方々にこの場をお借りし、心より御礼申し上げます。 なお、60周年記念誌は現在のところ急ぎ編集中であり、完成次第加盟団体や関係者の方々に送付させて頂 くことになっております。 3 第21回東関東バンド・セッション2015 及び 第16回東関東選抜吹奏楽大会 報告 ♪

平成27年6月7日(土)・8日(日) 会場 足利市民文化会館 大ホール

### 「東関東選抜吹奏楽大会に参加して」

栃木県立佐野東高等学校 吹奏楽部部長 高 橋 京

私たち佐野東高校吹奏楽部は、今年度初めて東関東バンドセッションに参加させていただきました。このような大きな大会に参加させていただく機会は、私たちにとってとても貴重な経験となりました。

演出や演奏について部員全員で話し合い、聴いてくださる方々に少しでも楽しんでいただけるよう努力しました。当日の会場では、他県の高校や小学校・中学校も参加しているため、とても新鮮な雰囲気でした。本番では、私たちらしい演奏ができたと思っています。

また、他校の演奏ではそれぞれの良さを活かした演奏を聴くことができ、たくさん学ぶことができました。これからも努力し続け、多くの人を楽しませることのできる演奏を心がけていきたいです。

# 4 第21回東関東吹奏楽コンクールに参加して♪

中学校の部B部門

### 「東関東吹奏楽コンクールに参加して」

真岡市立中村中学校 吹奏楽部 柳田真希

「中国の不思議な役人」この曲の楽譜を手にした日から、わたしたちのコンクールへの挑戦が始まりました。 1年前のコンクール県大会では、金賞をいただきましたが、代表選考会に進むことができず、とても悔しい思いをしました。「今年こそ、昨年以上の結果を残そう。」と、部員全員が同じ目標に向かって練習に励み、夢にまで見た東関東大会出場の切符を手にすることができました。

東関東吹奏楽コンクールは、県大会とは雰囲気や緊張感が全く違いました。各県の代表校の演奏はとてもレベルが高く聴いていて不安になりました。しかし、「わたしたちも栃木県の代表なのだ。」「今までたくさん練習してきたのだ。」ということを一人一人が思い出し、不安な気持ちを自信へと変えて演奏に臨むことができました。そして、本番のステージでは、堂々と今の自分達にとってベストな演奏をすることができました。演奏終了後、「やりきった!」という達成感に満ちあふれていました。表彰式で「ゴールド金賞」の言葉を聞いたときの気持ち、今思い出しても感動で胸がいっぱいです。今までつらい練習を共に乗り越えてきた仲間達と、この感動を分かち合えたことはかけがえのない思い出です。

ここまでできたのは、顧問の先生方、講師の先生方、保護者、地域の方々のご指導とご支援があったからと 深く感謝しています。後輩達には、この貴重な経験を今後の部活動に生かし、更に高い目標に向かって頑張っ てほしいと思います。

真岡市立中村中学校 吹奏楽部 顧問 高松明子

「自分達の演奏に集中するしかない。」東関東吹奏楽コンクール当日も含め、何度も口にした言葉でした。 本番のステージでは、県大会の時と同じように「ここは多目的室(普段練習している部屋の名前)」と生徒た ちの顔を見てつぶやき、指揮を振り始めました。あっという間の7分間でしたが、よこすか芸術劇場での演奏 を満喫し、今の自分達にできる限りの演奏をし、ステージを後にしました。

今年度は例年よりも3年生が多くいたので、難曲に挑戦しました。しかし、思った以上に難しく、コンクールまでに仕上がるのだろうかという想いが何度も頭をよぎりました。生徒達は個人練習、パート練習、セクション練習で同じフレーズを何度も何度も繰り返し練習したり、どのように表現したらよいか、振りを付けながら吹いたりもしました。「ちょっとでも気を抜くとこの曲は表現できない。」そんなことを考えながら毎日練習していました。

こんなにも長い期間、集中力を保ちながら練習してこられたのは、この曲との出会い、講師の先生方の熱心なご指導、校内の先生方や保護者の方々のサポートがあったからです。そして、何よりも生徒達の強い気持ち

が自分達の想いを実現させたことと思います。生徒達と共にこのような貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。

#### 高等学校の部A部門

### 「第21回東関東吹奏楽コンクールに参加して」

8月に行われた県大会では、課題が多く残る演奏だった ので、金賞・県代表、そしてもう一度このメンバーで演奏 できる機会をいただけたことに、部員一同大変喜びました。

私たち真岡女子高等学校吹奏楽部は、3年ぶりに東関東 大会に出場だったので、部員の中に東関東経験者はいませ ん。そして、会場となる茨城県民文化センターでの演奏も 初めてだったので、慣れた宇都宮市文化会館と違い、驚く ことばかりでした。

東関東大会当日は、出演順が1番だったため、早起きをし、バスの中で朝食をとりながら練習会場に向かいました。 練習会場は、早朝にもかかわらず水戸市内の学校をお借り でき、練習時間を確保することができました。本当にあり がとうございました。

栃木県立真岡女子高等学校 3年 梁島 里歩子



本番では今までで一番いい演奏ができたと思います。ですが、それでも届かなかった壁。他県の演奏を聴いたとき、鳥肌がたちました。同じ高校生ということに驚き、自分たちのレベルを痛感しました。

私たち3年生は引退してしまったので、後輩たちには今回の経験を生かし、互いに高めあって、また東関東 大会に挑んで欲しいと思います。

#### 高等学校の部B部門

## 「第21回東関東吹奏楽コンクールに出場させていただいて」

県立大田原高等学校 吹奏楽部顧問 遠 藤 佐知子

9月12日(土)、未熟ながら東関東吹奏楽コンクールに出場させていただきました。

午前中最後の出番でしたが、泊まったホテルから会場までの時間が正確によめず、朝の練習も超早朝練習でした。この日、私たちにとっての「午前」は長く、その長い長い「午前」の締めくくりを自分たちの本番で迎えることは、気持ちの持って行きようとしては楽だったかもしれないと今振り返っています。

気持ちの持って行き場所としては困難ではない、心身の整えようもメチャクチャ大変とも思わない、そこで、心が乱れるとしたらどういう場面か。結論として乱れることはなかったものの、乱れかけた場面があり、その時の景色が最も自分の中に焼き付いているので、そのことを書きたいと思います。

そこは上手袖。反響板1枚隔てた向こうで、1つ前の団体が見事な演奏を披露している。演奏の振動が奏者の気持ちを乗せて、床を伝って間違いなくこちらに伝わってくる。気がつくと反響板から音がこちらに光線のように漏れ差し込んでいる。女子生徒たちの息づかいが見えるようだ。これが東関東レベルか、と思うと一瞬クラッときた。

が、あくまで一瞬だ。私の周りには共に闘ってきた仲間(生徒たち)がいる。今日のこの日を向かえるために決して諦めず闘ってきた生徒たち。だまされて入部したようなものなのに、気がついたら吹奏楽のとりこになり、ひたすら上を目指すようになっていた部員たち。生徒にいつも言っていることを今改めて自分にも言い聞かせ、出番を待った。「練習通り、と本番で思えるように、練習をとことんやり尽くす。だから、今日は練習通り。そうさ、大高の「エスカペイド」を披露しようじゃないか。」

結果は銅賞でした。でも、本番ではやってきた事は表現できました。銅賞で終わってしまったので、もっと

もっと練習しなくてはと思っています。一人一人の技術は全くお粗末です。でも吹奏楽コンクールは、個人レベルではない次元で闘えるのかなといつも思っています。袖で受けた衝撃は次へつながるものです。これがあるから次回があるのかなという実感です。最後に、今回の本番中はとても楽しく、 f u n k ではみな笑顔でした。

### 「東関東「朝イチ」…突破力奏!」

真岡高等学校 吹奏楽部顧問 大久保 裕子

今年度、高校B部門県代表として東関東大会(千葉)で演奏させていただくことができ、大変ありがたく思っております。ただ、東関東大会出演順1番。県大会ではとにかく演奏するだけで精一杯でしたので、もう一度演奏するチャンスを与えてくださったことに感謝し練習に励みました。

「朝イチ」に向けた練習。今まで経験したことのない早起きの日々。休日練習では昼には練習終了。帰宅し(昼寝し)た生徒が起きた時刻を朝と勘違いし、夕方、学校に来るといったこともありました。(もちろん学校には誰もいません。なぜ自転車で来る途中で気付かないのか…さすが男子校の生徒。)出発前日には50年に1度といわれる大雨のため休校、1週間前には学校祭、校内合唱コンクール等、忙しく辛い日々でしたが、「二兎を追う者は一兎をも得ず」ではなく「二兎三兎追って全て得よ。真高生はできる」、各教室には校訓である「至誠」と「突破力」のことばが掲げられており、突き進むしかありませんでした。千葉文化会館の舞台、朝イチで向かえた本番は、楽しく悔いのない演奏をすることができました。しかし、まだまだ未熟で、これからしっかりとサウンド創りをしていかねばならないと感じました。

本校は男子校のため、吹奏楽経験者が少なく、部員28名のうち経験者は(楽器コンバートを含めて)12名(これでも今年度は多い方)。技術的な差が大きく、毎年、選曲が悩みの種です。今年はトランペットとフルートに3年生不在、しかも両パートとも高校から始めた生徒。せめて各パートに1人ずつ経験者がいてほしいと切に願うところです。昨年はチューバ経験者3人入部、合わせてチューバが4人という事態も発生しました。もちろんコンバートしましたが、男子は中学校で低音系を担当させられるのが多いということでしょうか。楽器編成のバランスが悪いことが多く、持ち替えも多種多様です。今までにフルートとサックス、トランペットとトロンボーン、打楽器とトロンボーン、サックスとファゴット等、生徒が良く対応してくれました。持ち替え等も器用にこなしてしまうような生徒もいれば、かなり不器用な生徒も多くおり、技術的な差が曲を作っていくうえで困難を極めます。ただ、技術的には他の学校に劣りますが、集中力だけは負けない気がしています。最後の追い込みで目覚ましい成長を遂げます。そして本番の集中力は、本当にすごい。こんなにできるのだったら練習からやってくれと思わずにはいられないのですが、これも男子だからでしょうか。

今年も県大会では本番当日に初めて全員がそろうといった状態で不安しかありませんでしたが、最後まであ きらめない精神と集中力で乗り切ったといった感じでした。今後も色々と苦労が絶えない気がしますが、東関 東大会で経験したことを生かして日々精進し続けたいと思います。

# 5 第21回東関東マーチングコンテストに参加して♪

## 「東関東マーチングコンテストに参加して」

私たち南犬飼中学校吹奏楽部は、東関東マーチングコンテストに栃木県代表として参加させていただきました。昨年度は初めてのマーチングコンテスト挑戦、今年は初めての難関A部門挑戦でした。

千葉ポートアリーナで演技を披露したのは二度目でしたが、 広い場所に慣れていない私達は、会場の広さや観客の多さ に圧倒され、緊張で胸がいっぱいでした。ミスも少しあり ましたが、私たちが出せる力は十分に発揮できたと思います。

演技終了後、客席で他校の演技を見ていると、どの学校 も歩幅や動きが揃っているし、音に迫力があり、私たちに

d hitterfilling

はまだまだ練習が必要なことを実感しました。全国大会常連校の演奏・演技を間近で見聞きできたことは大き

南犬飼中学校 3年 佐山友唯

な収穫です。後輩達には、今回の経験を生かし、更に上を目指して欲しいです。

総勢80名という大所帯での練習は、とても大変で苦労も多くありましたが、ここまで来られたのは先生方や保護者の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。忘れることのできない大切な思い出ができました。

### 「東関東マーチングコンテストに参加して」

石橋中学校 吹奏楽部 部員代表

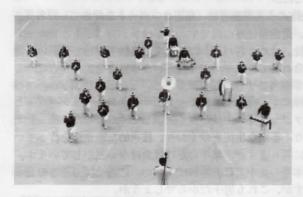
私は、中学生になって初めて東関東マーチングコンテストに出場しました。

東関東大会の会場は満員で、県大会とは全く違う景色でした。アリーナ内は少し蒸していて楽器のチューニングが心配だったけれど、見渡す限りたくさんの人が来場されていて、すごく興奮しました。よく音が響くので、演奏後は達成感でいっぱいでした。いろいろな県から代表として出場していた吹奏楽部の演奏・演技は、私にとってとても参考になりました。

来年も、この東関東の舞台へ行きます。

### 「平成27年度 第21回東関東マーチングコンテストに出場して」

青藍泰斗高等学校 吹奏楽部顧問 與儀和弘





去る10月4日、千葉ポートアリーナで行われた第21回東関東マーチングコンテストに出場させていただきました。おかげ様で今年で12年連続の出場となります。今回は顧問の立場から、様々な苦労話と共に、本校吹奏楽部のマーチングコンテストに向けての道のりをご紹介したいと思います。

毎年、選曲やテーマ選びには頭を悩ませます。その年の部員の傾向はもちろんですが、やはり演奏していて 自分たちが好きになれるもの、楽しいものを選ぶ様にしています。今年のテーマはディズニーシーのショーで 有名な「ファンタズミック!」でした。

新入部員も落ち着き始める6月頃には曲とテーマを決定し、演技も作り始めます。今年の3年生はマーチングが好きな生徒が多く、コンクール以上に熱心に取り組んでいました。25名と少人数の部ですから、コンクールとの両立は大変です。また本校は高校野球にも力をいれている為、夏は部員全員真っ黒になってまるで運動部です。ですが、我が吹奏楽部ではそれが当たり前になってきている為、最近では生徒自ら積極的に取り組む姿勢が目立つ様になりました。

それでも、日程的な厳しさはやはり感じます。コンクールが終わってから約2週間で県大会。お盆も休みはありません。また、練習場所の確保も一苦労です。幸い、本校の近くには旧葛生町時代からある古い市の体育館があり、格安で利用できる為、コンクールが終わるとほぼ毎日お借りしています。しかし、大会規定の30m×30mの大きさが無い事と観客席が無い為に、何回かは大きな体育館をお借りします。なかなか空きがなく、数ヶ月前から予約してやっと借りられるならまだ良い方で、「マーチングには貸せません」と門前払いをされる事も度々ありました。

一番キツいのは熱さとの闘いです。熱中症にならない様に細心の注意を払いながら、しかし近づく本番に焦りながらの指導になります。飲料水の準備などで保護者の皆様のご協力や差し入れは本当にありがたいです。 このように大変な事が多いマーチングですが、完成したときの喜びは舞台演奏以上の物があります。保護者 の皆さんもマーチングの方が分かりやすく楽しいようです。身体を使って汗をかいて、一生懸命に練習している子供達の姿には、やはり感動を覚えるのでしょう。動きと音がピッタリと合った時の爽快感は格別です。今年の県大会では例年になく多くのお客様にお越し頂きました。参加団体の保護者の皆様の熱気だけでなく、マーチング活動自体への関心の高まりを感じます。

それでも、他県(特に千葉県や神奈川県)に比べると本県マーチング活動はまだまだ盛んであるとは言えません。大会に参加する、しないは別として、運動会やイベントなど、マーチング活動に対する需要は意外と多いものです。実際、本校吹奏楽部には秋になると毎週の様に演奏依頼が舞い込みます。大型打楽器を使わなくても演奏できるので、運搬のトラックも必要なく、バス1台で手軽に移動できます。何より、楽器を持ってパレードしていれば目立つ事請け合い!カッコいい!生徒たちは見られる事によって意識も高まりますし、姿勢も良くなります。練習の中で協調性や自主性が自然と育まれていきます。

大変な事、苦労する事もたくさんあるマーチングですが、良い事も感動する事もたくさんあります。東関東大会では他県の大編成と技術の高さに圧倒されます。しかし、華やかな舞台で自分たちの演奏、演技を披露させていただける事そのものが喜びであり、感動です。夏の間、ほとんど休まずに汗を流し続けた生徒たちへのご褒美の場であると思っています。

東関東大会の場では、プレッシャーや独特の雰囲気の中、自分たちの実力を出し切れない面もありました。 それでも、終わった後に3年生が「去年は緊張していて何も覚えていないけど、今年は本当に楽しめた。心の 底から楽しかった」と言っていた事が顧問としては本当に嬉しかったです。

最後に、いつも大会に出場して思うのは運営の大変さです。裏方の努力が無ければスポットライトを浴びる 人はいません。東関東大会でも、千葉県の先生方、市立柏、習志野高校の吹奏楽部の皆さんがきめ細やかな運 営をして下さいました。支えて下さる方全てに感謝を忘れず、これからも更に向上を目指していきたいと思い ます。ありがとうございました。

編集後記というか、「ほやき」です。 栃木県吹奏楽連盟副理事長 広報部長 三橋英之(作新学院高校) 🎝 🎝

私事になりますが、私の所属している作新学院高校吹奏楽部の定期演奏会が50回の記念すべき節目を迎え、おかげさまで、立ち見がでるほどの盛況ぶりに応援してくださっている方が大勢いらっしゃることに感激した 次第です。

ところで、以前にも同じようなことを述べたかもしれませんが、少しばかり私の「ぼやき」におつきあいくださいませんか。

吹奏楽の活動は、教育活動として様々な教育的効果が期待でき、人間力を高め、スキルアップしていくのにとても良い活動だと考えています。日頃の吹奏楽の活動をうまく活用し、人間性を大きく成長させることができます。このことを意識することなく、ただ、指導者の自己満足や名声のために活動が展開されたり、生徒が熱心なのに、その想いに応えられないのでは、なおさら困ってしまいます。教育成果も何もありません。そこで、日々の活動のほとんどを音楽性の向上のために結びつけた活動を意識してはいかがでしょうか。これは吹奏楽ならではのものだと思いますが、音楽性の向上にも大きく繋がるものと信じていますし、何といっても部活動に行くのが楽しくなくては意味がありませんから。

そもそも吹奏楽部の活動は他の部活動と比較したとき、その活動の充実ぶりを実感することができます。各種大会に出場するばかりか、数多くの演奏の機会に恵まれ、大勢の聴衆の目に触れます。入学式・卒業式・式典・体育祭・文化祭・応援、開閉会式、定期演奏会、慰問演奏、依頼演奏、海外演奏旅行・国際交流等その活動の幅は広範です。これらの活動を通して必然的に多くの人たちと触れあい、有意義な交流ができ、大会とは違う感動を味わいます。年齢層の異なる人たちとも接するため、気を遣うことを覚え、周囲に気配りが出来る人間性を身につけます。この部員達の温かみのある人柄は模範的な生徒だと褒められることでしょう。まさに吹奏楽活動が生徒の人間形成に大きな役割をはたすとともに、吹奏楽活動の良さを実感することになります。

私自身は今後もこの考えの下に吹奏楽活動を通して、実りある学校生活を過し、誰にでも誇れる人間性を身につけられるよう精進し、さらに顧問と部員・保護者・かかわった全ての人たちとの信頼関係が醸成され、活動がマンネリ化することなくより工夫した部活動を展開していければと考えています。

みなさんもいかがですか?

広報部にご意見をお寄せください。

#### コンサート情報 ♪

# ⇒ 宇都宮市立姿川第一小学校吹奏楽部 「ニュー・イヤー・ドリーム・コンサート 2016」



日 時:平成28年1月30日(土)13時開演

場 所:宇都宮市立姿川第一小学校 体育館 ※入場無料

演奏曲目:交響曲第9番から「歓喜の歌」・舞曲「ボレロ」・日本古謡「山寺の和尚さん」本物の

和尚さんがパフォーマンスします・北の国から・千本桜・オペラ座の怪人 他

#### 

日 時:平成28年3月6日(日)13時30分開場 14時開演

場 所:高根沢町 町民ホール ※入場無料

演奏曲目:ホルジンガー:スクーティン・オン・ハードロック、ハンス・ジマー:ライオンキング 他

#### ♪ 作新学院高校吹奏楽部 フレッシュ・グリーンコンサート

日 時:平成28年5月29日(日)13時30分開演予定

場 所:栃木県総合文化センター・メインホール

入場料:前売り·大人¥800- 高校生以下¥500- (当日券は各¥200-増) 演奏曲目:2016全日本吹奏楽コンクール課題曲、2016ニュー・サウンズ・イン・ブラス

問い合せ先:吹奏楽部090-3318-6826 平日16時~19時 休日9時~18時

#### ♪ 作新学院高校吹奏楽部&東京農業大学第二高等学校ジョイントコンサート

日 時:平成28年7月3日(日)14時00分開演予定

場 所:栃木県総合文化センター・メインホール

入場料:前売り・大人¥800- 高校生以下¥500- (当日券は各¥200-増)

演奏曲目:2016全日本吹奏楽コンクール課題曲、2016ニュー・サウンズ・イン・ブラス、

マーチングショー

問い合せ先:吹奏楽部090-3318-6826 平日16時~19時 休日9時~18時